

## 山崎貞一氏について

(略歴)

明治42年8月5日 静岡県生まれ  
昭和10年 東京工業大学電気化学科卒業  
同 13年 東京電気化学工業(現TDK)株式会社に入社  
同 22年 同社 代表取締役社長  
同 44年 同社 代表取締役会長  
その後、  
社団法人経済団体連合会 評議員 理事  
財団法人防衛大学校学術・教育振興会 常務理事 などを歴任  
平成10年11月20日 永眠 享年89歳

(防衛大学校及び当会に対する貢献)

山崎貞一氏は、戦時中の陸軍における経験から、戦後の科学技術の研究開発に強い意欲と問題意識を持たれ、国を憂う気持ちと相まって、防衛大学校(以下、「防大」という。)における研究と教育に大きな関心と期待を寄せられ、防大の研究・教育に私財を提供されるなど多大な貢献をされた。

具体的には、以下のとおりである。

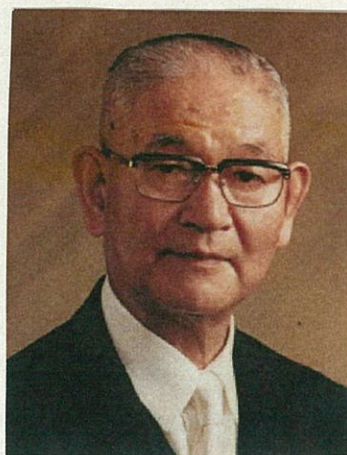
昭和46年度から62年度まで、専務理事を務める「財団法人加藤科学振興会」から、防大の若手教官に対する研究奨励金を提供、

昭和48年度から51年度まで、私財を提供し、防大に諸外国の高名な学者を客員教授として招聘するための滞在費等の一部を援助、

昭和52年、「防衛大学校学術振興基金」の設立に当たり、自らこの基金募集の取りまとめ役を引き受け、企業及び関係者に働きかけられ、52年度から60年度まで、集められた資金を、代表幹事を務める「防衛大学校学術振興後援会」から提供、

「防衛大学校学術振興基金」を財団法人化すべく準備中であった昭和61年11月、その設立のための基金として、私財7千万円を寄贈し、財団の基本財産形成に多大な寄与、

昭和62年8月7日に「財団法人防衛大学校学術・教育振興会」が設立された後は、常務理事として同会の運営に尽力され、逝去されるまで務める。



<写真は、「一般財団法人材料科学技術振興財団」のホームページより転載>